

救命処置の手順（心肺蘇生と AED の使用）

心肺蘇生の手順

①安全を確認する

- ・ 傷病者の救助の前に、自らの安全確保を優先します。



②反応を確認する

- ・ 「大丈夫ですか？もしもし？わかりますか？」と倒れている人の肩を叩きながら呼びかけます。



③呼吸の確認

- ・胸と腹の上がり下がりを見て、「普段通りの呼吸」をしているか10秒以内で判断します。

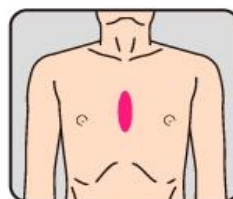


- ・普段通りの呼吸をしていない、判断に迷う場合は直ちに胸骨圧迫を行います。

④胸骨圧迫

- ・胸の真ん中が約5cm沈みこむように、1分間に100～120回のテンポで、30回圧迫します。

胸骨圧迫の位置



⑤人工呼吸

- ・人工呼吸の意思がある場合には、約1秒かけて胸の上がりが見える程度の量を2回吹き込みます。（胸骨圧迫30回と合わせて30：2のサイクルで繰り返します）



※人工呼吸用の感染防止具が無い場合や血液や嘔吐物などの感染危険がある場合には人工呼吸を行わず胸骨圧迫を連続で行います。

AED の使用手順

⑥AED の到着と準備

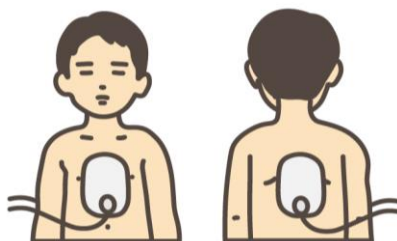
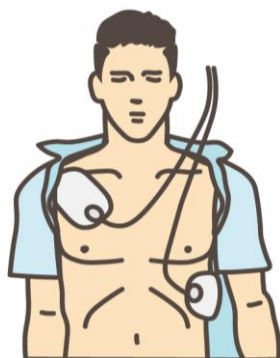
- ・電源を入れる。（ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります）



- ・電源を入れたら、それ以降は音声メッセージ等の指示に従って操作します。

⑦電極パッドを胸に貼る

- ・電極パッドを貼る位置は電極パッドや本体に記されてるイラストのとおり貼り付けます。
- ・体が濡れていたり薬剤やシップが付いている場合はふき取ってください。
- ・未就学児には未就学児モードで小学生以上には小学生～大人モードを使用します。未就学児に成人用パッドは使えるが、小学生以上に未就学児用パッドは使用できません。



未就学児

⑧心電図の解析

- ・パッドを貼りつけたら自動で心電図が解析されます。
- ・解析中は胸骨圧迫を中断して傷病者に触れないようにします。



⑨電気ショック

- ・電気ショックが必要な場合はショックボタンが点滅します。誰も傷病者に触れていないことを確認しショックボタンを押します。
- ・以降は救急隊到着まで音声メッセージの指示に従い胸骨圧迫を続けて下さい。

